



浜松市

平成23年度 外部評価資料

資料番号	事業名	所管課
1-8	市政広報事業	広聴広報課

事業シート1

課コード: 000315000
 担当組織: 広聴広報課

作成日: 平成23年5月30日
 責任者: 中西 利充

基本政策	課	政策	目	事業	款	項	目	事項	款	項	目	事項
計画コード	16	05	0239	01	023901	予算コード	06	01	07	11		

事業名: 市政広報事業

事業費 (予算) (単位:千円)	22年度	23年度	比較	人工 (正規職員) (単位:人)	22年度	23年度	比較
	166,574	164,820	△ 1,754		10.7	10.7	0.0
23年度 事業費内訳 (単位:千円)	需用費	委託料	工事請負費	公有財産購入費	負担金補助 及び交付金	扶助費	その他
	79,883	37,716					47,221

◆事業の目的

市が取り組む施策や行政サービスを市民に正しく分かりやすく伝え、市民の市政に対する理解・協力・参画を得るとともに、市民協働を促進する。

◆事業内容(平成23年度に何をやるか)

- ・市の施策、制度及びお知らせなどの情報を市民に知らせるため、「広報はままつ」の全市版(307,000部)、点字版(180部)、ポルトガル語版(6,000部)、英語版(1,500部)を毎月発行するとともに、市の施策を詳しくお知らせするための市政情報誌(307,000部)を年4回発行する。また、市制100周年の記念誌(3,000部増刷)を市制記念日にあわせて発行する。
- ・テレビ、ラジオ等のマスメディアを活用し、市政情報を正確、迅速かつ広範囲に伝達する。
- ・市公式ホームページを、全庁的な共通ルールに基づき管理運用していく。また、市公式ホームページの中で「市長の部屋」「動画チャンネル」を公開するほか、メールマガジンを月3回配信するなど、インターネットを利用した情報発信を推進する。
- ・部局への広報支援として、希望する事業担当課に対し、広報デザイナーを派遣し、コンサルティングを実施する。

◆これまでの取組状況(平成22年度に何をを行い、その結果はどうだったか)

- ・市の施策、制度及びお知らせなどの情報を市民に知らせるため、「広報はままつ」の全市版、点字版、ポルトガル語版、英語版を毎月発行するとともに、市の施策を詳しくお知らせするための市政情報誌を年4回発行した。また、市の政策、市勢のあらましを市民に伝達する「市勢要覧」を市制記念日にあわせて発行した。
- ・テレビ・ラジオ等のマスメディアを活用し、市政情報を正確、迅速かつ広範囲に伝達した。
- ・市公式ホームページを、全庁的な共通ルールに基づき管理運用した。また、市公式ホームページの中で「市長の部屋」「動画チャンネル」を公開するほか、メールマガジンを月3回配信するなど、インターネットを利用した情報発信を推進した。
- ・部局への広報支援として、希望する事業担当課に対し、広報デザイナーを派遣し、コンサルティングを実施した。
- ・市民の暮らしに役立てるため、浜松市のサービスを中心に掲載した冊子「はままつくらしのガイド生活便利帳2010」を発行した。

開始年度	終了予定年度	事業の性格分類	根拠法令等					
昭和 27 年	年	自治事務						
会計区分	戦略性	マニフェスト	事業の特徴	施設管理	指定管理	受益者負担	補助金	市民協働
一般会計	分野別計画							
行革審答申	外部評価	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
	*H20は事業仕分け							

(単位:千円)		H22	H23	H24計画	H25計画	H26計画	H23~26計
事業費	予算	166,574	164,820	188,837	166,354	168,806	688,817
	決算	155,538					0
財源内訳	国・県支出金	5,235	6,132	6,541	6,541	6,541	25,755
	市債						0
	その他	4,765	4,960	4,960	4,960	4,960	19,840
	一般財源	145,538	153,728	177,336	154,853	157,305	643,222
	*一般会計繰入						0
人件費(報酬等)							0
人件費		94,000	94,000	94,000	94,000	94,000	376,000
内訳	人工(正規)	10.7	10.7	10.7	10.7	10.7	—
	人工(非常勤)	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	—
	人工(再任用)						—
年間経費(事業費+人件費)		249,538	258,820	282,837	260,354	262,806	1,064,817

成果指標1 市民アンケートによる「分かりやすくきめ細かな市政情報の提供」の満足度							
種類	アウトカム指標(成果指標)	単位	H22	H23	H24	H25	H26
	目標	%	17.0	15.5	17.0	18.5	20.0
	実績	%	14.4				

成果指標2							
種類		単位	H22	H23	H24	H25	H26
	目標						
	実績						

◆事業の成果(平成22年度末時点での目的の実現状況 ※活動ではなく状態)

- ・市民それぞれの必要・希望に応じて市政情報に触れられるように、紙媒体である「広報はままつ」、テレビ・ラジオを使った情報発信、インターネットによる「ホームページ」、「メールマガジン」など、多くの媒体を使い発信した。市政情報が、市民に広く届く環境整備は進んでいると考えている。
- ・行政情報のお知らせだけでなく、市政情報誌「Change!ハママツ」など問題提起型の情報発信も充実させることで、協働意識の高まりにも寄与していると考えている。
- ・一方で、市民の興味・関心の多様化、コスト意識の高まりに伴い、市政情報伝達に対する市民の考え方や評価にも幅があることを認識している。

◆評価(平成22年度事業の評価)

(1) 必要性: 継続

(理由)

市政情報は市民ニーズの高いものであり、効果的に伝達する手段として市政広報事業は不可欠である。

(2) 実施主体: 市

(理由)

マスコミをはじめ各種媒体により市関連情報の提供は行われているが、行政の行う広報のような公共性・継続性は担保されない。

(3) 選択と集中 集中

(理由)

市制100周年は本市にとって大きな情報発信の素材となるため、通常の市政広報業務に加えて、100周年PR関連事業を市民に周知する。

(4) 改善: その他改善

(理由)

市内在住の外国人への市政情報の提供などのサービス向上が求められているため、ホームページに自動翻訳機能を付加し、外国人市民へのサービス向上を図った。年度途中に広報はままつの配布にかかる自治会への負担や費用軽減のため、紙の軽量化に取り組み、コスト削減とともに配付の利便性に寄与した。

今後の方向性 改善

市政広報事業は、必要とする市民に、必要なときに、必要な形で分かりやすく伝えることが大事であり、外部環境の変化に応じて常に見直しをしていく必要がある。

◆改革・改善(評価を反映して何を見直したか)

(1) これまでに実施した改革・改善(平成23年度予算で反映したものを含む)

- ・広報はままつ全市版の紙を軽量化することで、自治会の配布負担、印刷経費の削減を図る。
- ・市政情報誌は、全世帯配布をやめ、公共施設および協力いただける民間施設に配架するなど配布方法の見直しを行うことで、自治会の配布負担、印刷経費の削減を図る。なお、ホームページでの公開は従来どおり行っていく。

(2) 今後の改革・改善計画(いつまでに何をどう見直す)

- ・広報はままつについては、全市版、区版を含め、さらなる改革・改善のために平成23年度内に方向性を打ち出し、翌年度から実行して、経費の節減につなげる。

論点シート

事業番号	1 - 8	事業名	市政広報事業
部局	総務部	所管課	広聴広報課
H23 予算	164,820 千円	所管課	改善（その他）
H22 予算	166,574 千円	一次評価	
評価対象事業についての論点等			
<ul style="list-style-type: none"> ・全市版、区版の月2回の発行は必要か、コストは妥当な額か ・コストを抑えるため、どのような取組を進めているか、広告費の募集の状況は ・広報紙作成のアウトソーシングは可能か ・成果指標である市民アンケートによる「分かりやすくきめ細かな市政情報の提供」の満足度が14.4%と低いが、改善の取組は ・インターネットを使う市民に広報紙は必要か 			
評価対象事業についての二次評価			
<p>【改善（その他）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報紙の読まれている状況を検証し、より効率的な情報発信のあり方を検討すべき 			